

## 協働事業提案書

事務局転記

No. 7

1. 事業名	空き店舗活用による子どもの居場所作り
2. 提案者	NPO 法人地域家族しんちゃんハウス
3. 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリー、インクルージョンの社会を目指し商店街にも活気を取り戻す。全ての物の考え方が良く循環する社会を目指す。</li> <li>・ 子どもたちが生き生きできない町は発展しない。よって子どもの居場所作りをひとつでも多くし、商店街にも活性化をもたらすものである。</li> </ul>
4. 事業の内容	<p>今の若いお母さん方は、本当に子育て頑張っています。でも、すてきな循環がなされていないのでストレスたまります。そんな結果として、辛い報道がなされ、とても寂しいかぎりです。母さんたちが笑顔で暮らせる町作りのために、自分たちの手で、自分たちの子育てできる居場所を提供し、次世代交流、地域交流、異文化交流と正しいものの考え方ができるような環境の提供。</p>
5. 提案の理由	<p>大和市でも子どもプランを策定し、順次取り組んでいるところではありますが、いつでも出入りできる場所は、大和市には子育て支援センター、ひとつしかありません。コミセン・学習センター・保育園…。いつでも出入りできる訳ではありません。いつでも出入りできる場がひとつでも多くあることによって、安全で安心できる地域に、そして、学力低下にもストップがかかるのではないのでしょうか？母親が気持ち良く暮らせる町は、皆が気持ちよく暮らせるのです。そして、空き店舗の活用により、商店街もにぎわうわけです。</p>

6. 市に期待する役割	<p>①. 情報の提供・共有    2. 活動場所の提供  ③. 広報活動    4. 説明会等への参加  ⑤. 行政機関等との連絡調整  ⑥. その他  ご自由にお書き下さい。</p> <p>必要なランニングコスト</p>
7. 事業期間	3年
8. 事業に要する経費	<p>ランニングコスト（家賃・電気代他）</p> <p>人手は、マンパワーで努力</p>
9. 事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの居場所があるため、安心・安全が保たれる・</li> <li>・障害者や団塊世代の方々に活躍の場として提供できる。</li> <li>・空き店舗の活用により、商店街の活性化につながる。</li> <li>・地域と子どもたちが連携強化でコミュニケーションがとれる。</li> </ul>
10. その他	公園の近くであるとベスト